

鎌倉消防署のはしご付消防自動車は、平成12年3月に配置され、17年の間火災や救助現場などで活動してまいりましたが、老朽化にともない最新鋭のはしご車に更新、平成29年3月から運用を開始しました。

このはしご車の大きな特徴は、はしごを全て伸ばすと地上から26mに達し、旧はしご車よりも2m高くなりました。またブーム（伸縮性のあるフレーム）が屈折することにより、電線等の障害物を避けることができるため、広範囲にわたる放水活動や救助活動が可能となりました。

他にも多くの機能をもっています。お時間のある方は、是非鎌倉消防署へお立ち寄りください。



(平成29年3月に鎌倉消防署に配置された新はしご車)

新はしご車の他の機能

- 1 シングルキャブからダブルキャブになり、乗車定員も1名増え、6名になった。
- 2 強風時に活動できる限界が最大風速16m/sまで可能になる。
- 3 ブームを直線的に架ていでき、素早く目標地点へ到達できる。
- 4 ブームがΣ型リンクの構造（様々に屈折する構造）のため、地上と平行に16m伸ばすことができる。

- 5 ブームをクレーンとして使用することができ、災害活動時の範囲が広がった。
- 6 ブーム先端に取り付けられているバスケットに首振り機能があり建物に対し平行に接近することができ、安全・迅速・確実に屋内進入することができる。
- 7 放水するための機能があらかじめ装備されていることから、放水までの時間が短縮され、迅速な消火活動ができる。

新はしご車の様々な動き



新旧はしご車・大船はしご車諸元表

	旧はしご車 (イベコマギルス製)	新はしご車 (日本機械工業株式会社)	大船はしご車 (イベコマギルス製)
型式	マギルス DLK18-12cc	日野 QPG-FH1A LDA改	マギルス DLK37-vario cc
全長	825cm	965cm	1,000cm
全幅	230cm	249cm	249cm
全高	325cm	348cm	352cm
ホイールベース	369cm	515cm	481cm
車両総重量	12,740kg	16,100kg	15,030kg
総排気量	5,861cc	8,860cc	5,880cc
乗車定員	5名 (外部座席2名含む)	6名	6名
最大地上高	24.7m	26.0m	37.3m
最大風速時の活動限界	7m/s	16m/s	7m/s
バスケット許容積載荷重	270kg	270kg	270kg
傾斜矯正範囲	7°	7°	7°

私たちは、はしご車を最大限に活用して、市民の皆様の安全・安心のため消防の任務を遂行してまいります。

市民の皆様に「消防」についての理解と認識を深めていただくため、各種イベントを開催するなどして消防車両等の展示や救急講習の開催を行っています。

その一環として7月22日(土)23日(日)の午前中、鎌倉消防署ではしご車の乗車体験(乗車人数・年齢等の制限あり)ができる「ふれあい広場かまくら2017」を予定していますので楽しみにしててください。



(左・・・鎌倉旧はしご車 中・・・鎌倉新はしご車 右・・・大船はしご車)
地上高 (24.7m) (26.0m) (37.3m)

各種問い合わせ先 鎌倉消防署 警備課
電話：0467 (24) 0119